



# プロ選手が語るバスケットボール ～国体の魅力～



スポーツ祭東京2013の開催100日前イベントとして、去る6月29日(土)、プロバスケットボール五十嵐圭選手のトークショーが行われました。イベント会場となったアスタセンターコートには、未来のアスリートを目指す小中学生や、遠方から駆けつけた五十嵐選手のファンなど、大勢の人が集合。五十嵐選手からバスケットボールの魅力や国体の観戦のポイントを教えてくださいました。



## バスケットボールを始めたのは?

小学校5年生のときです。ちょうどそのころ、別の小学校にバスケットボールのすごく上手な憧れの先輩がいて、その人みたいになりたいと思い、本格的に始めるようになりました。

上からたたきつけるように決めるシュート)に代表されるように、見どころが多いと思います。スリーポイントシュート(スリーポイントラインの外側から決める長いシュートで3点得点できる)では、ボールがきれいな弧を描いてリングを通り抜けるのを見ていただけたと思います。

観客席近くまで飛び込んでくることもあり、選手の息づかいが間近に感じられるほどです。コートでプレーしているときは集中力を高めているので、周りの歓声が聞こえないこともあります。選手は応援が力となって、「よし、もうひと踏ん張りしよう!」と奮起するんです。

ください。普段バスケットボールの試合を見る機会は少ないと思うのですが、今回、西東京市で開催されるのは絶好のチャンスだと思います。国体というレベルの高い試合を、皆さんの身近な体育館で観戦できるので。今までバスケットボールを見たことがないという方々にも、ぜひバスケットボールの楽しさを知っていただきたいです。そして、僕たちプロの試合も見に行ってみようと思っております。

## 国体に出場した経験は?

高校2年と3年のとき、それぞれ大阪府、神奈川県で開催された国体に出場しました。国体は各都道府県が優秀な選手を集めたセレクトチームを作って戦うため、レベルの高い試合だったというのが印象に残っています。違う高校の選手とチームを組んでプレーするので、コミュニケーションをしっかり取るよう心掛けました。



## 五十嵐選手の今後の目標は?

33歳という年齢はバスケットボール界の中でもベテランの域。現在、僕が所属しているJBL(日本バスケットボールリーグ)も、今年からNBL(ナショナル・バスケットボール・リーグ)という新しいリーグに生まれ変わるので、まずは新リーグでの優勝を目指したいですね。また、現役選手でいる限り、日本代表に選んでいただけるように頑張っていきたいです。

## バスケットボールの魅力とは?

バスケットボールは、小さなコートで体の大きな選手が走り回る、迫力のあるスポーツです。攻撃と守備の切り替わりが早く、スピード感があるのも特徴です。残り1秒あれば逆転も不可能ではないという、最後まで勝負の行方がわからない面白さがあります。また、たくさん得点できるスポーツなので、派手なダンクシュート(高くジャンプしながらゴールの

## 会場で見ると迫力がありそうですね

国体は全国からトップ選手が集まるので、レベルの高い試合が展開されます。テレビやマンガでしか見たことがないダンクシュートも生で見ると迫力があります。また、バスケットボールは他のスポーツに比べて、観客と選手の距離がとても近い。ボールを追って、選手が

## 最後に西東京市民へメッセージを

皆さん小中高の体育の授業で一度はバスケットボールというスポーツに触れた経験があるはず。どのカテゴリーでも良いので、まずは会場に足を運んでみてく

### いごらししい 五十嵐圭選手

1980年5月7日生まれ。新潟県上越市出身。日本バスケットボールリーグ(2013年よりナショナル・バスケットボール・リーグ)の三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ名古屋所属。高校時代は国体に2度出場、中央大学時代はインターカレッジで準優勝を経験。スピード感あふれるプレーに定評があり、2年連続でJBLベスト5に輝くとともに、08-09シーズンには準優勝を果たす。身長180cm。背番号7。ポジションはPG(ポイントガード)



私たちも応援しています!

国体の開催会場では、選手の気迫あふれるプレーも見どころですが、全国から訪れる選手・監督や観覧者への「おもてなし」も見どころの一つです。

会場に足を運んで見渡してください。さまざまな場所に、「おもてなし」を探することができます。  
◆スポーツ振興課(☎042-438-4082)



## ゆりーとくんの折り紙で会場を飾ります!



リハーサル大会時の飾り付け

バスケットボール競技の会場となる総合体育館を「ゆりーとくん」の折り紙で装飾します。現在、市内の小中学校や関係団体の皆さんが約1,000羽を目標に折り紙の「ゆりーとくん」を作成しています。気持ちを込めて折った「ゆりーとくん」が手をつないでいるようにつなぎ合わせて、体育館内や選手の控え室などに飾り付けます。西東京市ならではの壮大な装飾と、一羽一羽表情の異なる「ゆりーとくん」をぜひ会場に足を運んでご覧ください。

## 会場を飾るお花を種から育てたり、選手・監督へのおもてなし品のバターナイフも手作りしています

都立田無特別支援学校では、国体の開催に向けて、生徒さんたちが授業で歓迎のお花や、おもてなし品のバターナイフを早い時期から作製し始めていました。農園芸班では、会場を飾るために百日草を育てていました。農薬を使用しないで育てたため、害虫の被害に遭い大変苦労したようです。生徒さんたちは、「肥料が重かったけど、選手の皆さんが笑顔になってくれたらうれしい」と、夏の暑い中、汗を流しながら懸命に作業を行っていました。この大切に育てた花々が国体の会場を飾り、選手や市民の皆さんをお出迎えます。



花の手入れをする生徒さんたち



電動のこぎりを使って作業する生徒さんたち

木工班では、270個の納品を目標にバターナイフを作製していました。作業はとても丁寧で、「切るとハートの型が難しい」「国体で喜んでほしい」と生徒さんは心を込めて作製していました。生徒さんたちが丹精込めて作製したおもてなし品のバターナイフを選手の皆さんが手に取り、喜び姿を想像するととても楽しみです。

田無庁舎の1階売店の前では、定期的に田無特別支援学校の生徒さんたちの製品を販売しています。ぜひお立ち寄りください。

園都立田無特別支援学校(☎042-463-6262)